

にんにん堂

焰の楽園



第一話 出逢い、二人の絆



私はホ●ラ

天の聖杯と呼ばれる

ブレイドです

ドライバーである

レ●クスや他の仲間達と

楽園を目指して旅を

しています

ドライバーとブレイドは

キズナを深め成長する

道中は戦いがつきものです

今夜、初めてレ●クスと

宿屋でキズナを深めます

ト●くんとハ●ちゃんは

隣の部屋ですすでに

始めてるみたい…

私達もいよいよです

ドキドキ
しますね

レ●クスは女性と
経験がないので
私がリードします



ちゅぷちゅぷ

ずぽぽん



ぷん

ぷん

へん



えん

しん

むちゅ

ちゅん

ホ●ラ!

力を抜いて
下さいね…



えん

ヒク

えん

ぐん

ヒク

レ●クスのここ
可愛いです♪



ホ●ラ：

これ：

凄くいいよ！

ここですか？

う、うん
良い感じ

ふふふ…

お気に召した

様ですね♪

あっ

ぬふふ…♡

あっ

お尻の穴で
感じちゃう
なんて

トラくんや
ニアが
知ったら驚くで
しょうね…♪



ああっ！

えいつ

ゾク

ヨダレ垂らす程
気持ち良いん
ですね♪

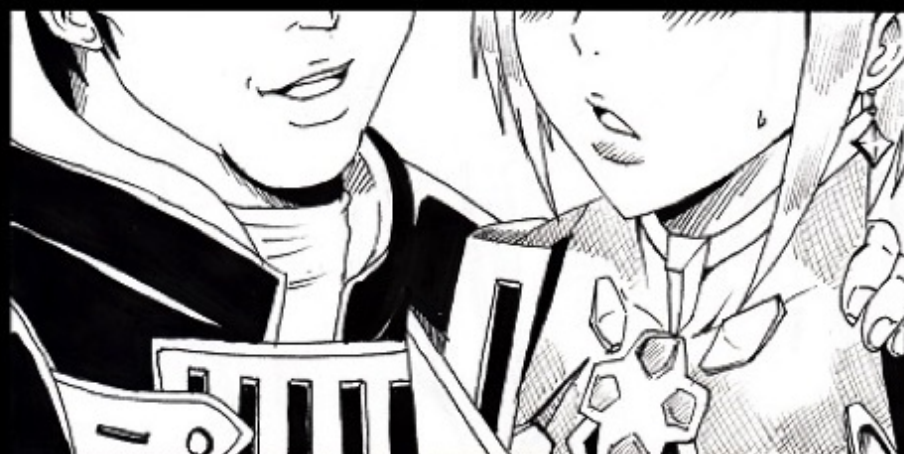
私ももう

我慢出来

ません…♡



第二話 再会



500年前、天の聖杯である私の
本来の人格ヒ●リちゃんと
戦った男、メツが私の前に
現れました

今回は挨拶だけ、二人きりで
話がしたいとメツは言う。

誘いを断ればレ●クス達を
危険な目に合わせるかも
しれません…

私は誘いに応え、メツと
ひと気のない路地にある
小屋へと入りました

んっ！

会いたかったぜ

ヒカ…いや
ホ●ラ

はふ！

メツ…

相変わらずですね
力で女を屈服させる
強引な所…
レ●クスとは
大違い…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ゴツゴツした
男らしい手…

シクッ

シクッ

嘘…こんな
大きかった…？

もみ

もみ





いいか
丹念にしゃぶれよ



勝手な事
言って…

凄い粘り気で
喉に絡みつくから
飲み込むの大変…

悪い、思わず
出しちゃったわ
ちゃんと
飲めよ

おらっ

イクぜっ！

いやっ

されるがままに
私は中出しまで
されました。

500年振りのメツのザーメン

…と言っても以前されたのは
ヒ●リちゃんでは私は今回が始
めて…レ●クス以外の男…

子宮の中
満たされてる

ドブッ♡♡♡

2発目とは
思えない…

ヒ●リもなかなか
だったが、ホ●ラ
お前も悪かねえ…

今日はこれで
帰るとするぜ

二五

はぁ…

はぁ…



第三話 もう一つの穴



インヴェイディアで出会った
ヴ●ンダムさんは傭兵団の
団長で、とても頼りになる
方です

しかし、彼が
私の後ろにいる時
常に感じる視線：

それに私は
困惑しながらも
旅をしていました

今夜、お酒を飲んで
上機嫌なヴ●ンダムさんに
半ば強引に彼の部屋へ
連れ込まれました

あゝ

見事だツ

これが
天の聖杯の
ケツ穴かツ！

ジュアッ

ジュホッ

団長今夜も
やってるよ

あんん
パンッ
パンッ
パンッ

あゝ
パンッ
パンッ

今日はどんな女を
連れ込んでるやら

ヴ●ンダムさんは
無類のアナル好きで
ひたすらアナルを
犯されました：

構うことねえ
俺の部屋は許可
なく人は入らん！

ヴ●ンダムさんツ
そんなに激しくしたら
声出ちやいますツ！

あゝ

あんん

ふるん

ふるん

ギョム

アッ

アッ

グスト

アッ

アッ

アッ

グスト

受け取れーッ！

ホ●ラ！！

ブズツ

ドブ

マツスル
スマツシュ！！

エ

ルルル

ブズツ

ヴ●ンダムさんのおち●ぽアーツで私は潮吹き絶頂を迎えました

ビクッ

ああ

ぐわ

うぐ

力任せだけじゃない…
子宮に響く…女性を
知り尽くしている熟練
された技…♡

レ●クスには
とても真似
出来ない…

ビクッ

ホ●ラ：
お前さんのアナル
良かったぜ：
レ●クスにも
使わせてやりな…

レ…レ●クスは
こんな所に興味
持ちません…♡

そうかい

なら今夜は俺が
たっぷり味わう
としようじゃ
ねえか…

この後も朝方まで
アナルセックス
しました

ヴ●ンダムさんの
体力は底無しで
何十発もアナルに
おち●ぽアーツ
決められちゃい
ました…♡



ハァ…

ハァ…

ハァ…

ハァ…

アナルセックス

アナルセックス

オオオオ

第四話 隠姦



イン●イディア王都フ●ンス・マイム
にある劇団の座長コールさん
今日は体調が悪いコールさん
のお見舞いに来ました

レ●クスの提案で私の得意な
料理を振る舞う事にしました

私達が来る前は元気がなかった
そうですが、今はテーブルの
下から私の太ももを触ってくる
くらい元気です…

食事中ずっと触られて私は段々
変な気持ちになってました…

コールさん
どうだった？

ホ●ラの料理
美味しかったでしょ

もうレ●クス
ったら…

ああ、とても
美味しかったよ

そろそろ部屋で
休むといいよ

そうさせて

もらうよ

グキョ

グッ

グッ…

グキョ…

レ●クスが側に
いるのに…
これは大胆なお
誘いですね…

むにむに

むに

むに

では
後で…

デザートを
お持ち
します♥

ドキ

…うむ、これは
美味なデザートだ
ん？これは尿の味…

はい…ここに
来る前に
おトイレに…

ふむ…
したのかな？

はい…おしっこ
しました…



キラッ

はぁ

はぁ

準備…

ギンツ

ギンツ

出来たみたい
ですね…



お年寄りなのに

立派なん
ですね…

お主も既に
ヌルヌルだな



はい…

それなら
わしが飲んで
やったのにな

ダメです
そんな事…

じゅるるる

じゅ

じゅぷぷ

んぷ

んぷ

ぷぷ

ふ

ん

ん

ん

びん

とら

ホ●ラ
そこにいるの？

コールさんも
いる？…大丈夫？

ええ

今デザートを
召し上がって
いる所です…

おっ

ほっ

あー

…っ

ピクピク…

あ

おっ…
出る…

んっ

んっ

びゅるびゅる

ぶびゅー

どびゅ

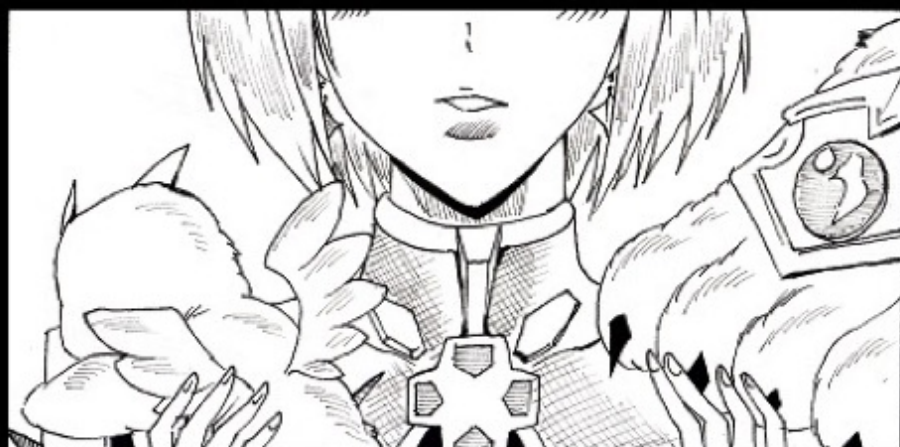
そう
なら良かった

これは仕方ない
事なんです

早くコールさんに
元気になって
貰いたいから…
レ●クス…
分かってくれます
よね…

後片付けがあるので
レ●クスは皆と先に
宿に戻って下さい

第五話 獣の猛り



巨神獣であるセ●リュウさんは
レ●クスの保護者の様な方です

戦闘の最中に私の身体を
ジロジロ見たりちよつと
エッチな所もありますが、
豊富な知識で私達を
サポートしてくれます

ニアのブレイドである
ビ●ッコさんもかなりの
知識を持っています
そして、やはり私を
エッチな目で見てきます

なのでこの方々の性処理は
私の役目でもあります

レ●クスとニアが

寝静まった頃、その

行為は始まります：

戦いも徐々に厳しく
なってきたおる…
乗り越える為にも



レ●クスと
ホ●ラは
キズナを深めて
もらわんとな…

それなのに
……

ぶぢゅ
ぶぢゅ

んっ
ぢゅぢゅ

ふっ
ぢゅぢゅ

ぶっ
ぢゅぢゅ

おほ
おほ

すまんの
レ●クス



これはっ！

ぶぢゅ
ぶぢゅ

何という
ストロークじゃ!!

イクツ!!

んっ

グッ
グッ

ふっ

また腕を
上げた様
じゃな…



へっ
へっ



これは…何と
素晴らしい！
絶品ですね…!!

はっ…
く…苦しい
大きい…
ですっ！



タイガー
レイジツ!!

ケモノおち●ほ
アーツ来たあっ♡

んおっ

はっ

ほっ

凄いやついで
注がれるう♡

ホ●ラ次は
わしじゃ!!

はい…セ●

リュウさん♡

第六話 秘密の宴



私は今夜、路銀を稼ぐ為にある

仕事を引き受けました

それは見知らぬドライバーと

身体を交わせるというもの…

全てはレ●クスの為…

勿論、彼には内緒です

指定の場所へ行くとそこには

屈強な男性が三人も居ました

どうやら彼らが今夜の相手の様です

彼らの鍛えられた裸体を見て思わず

これからする事を想像してしまうと

身体の火照りを感じずには

いられませんでした…

泣けるねえ

くくく…

愛しのドライバーの
為に体張って金稼ぎ
とは…

ホントはただの
好き者なんじゃ
ねえの？

ぎゅー
もみ
もみ

おはよう

あり

あり

こす

こす

でも、こういうの
嫌じゃない…むしろ
望んでいた事…？

お金を稼がないと
いけないのは事実
…だから私は…



あッ
イクッ
休む間もなくドライバー達は
代わる代わる私に中出しを
決めました…その度に私も
絶頂を迎え、今までにない
快感で満たされました



お金の為という
理由で私は…

は…
そう…この時既に
レ●クスへの罪悪感は
薄れてきていました…

は…

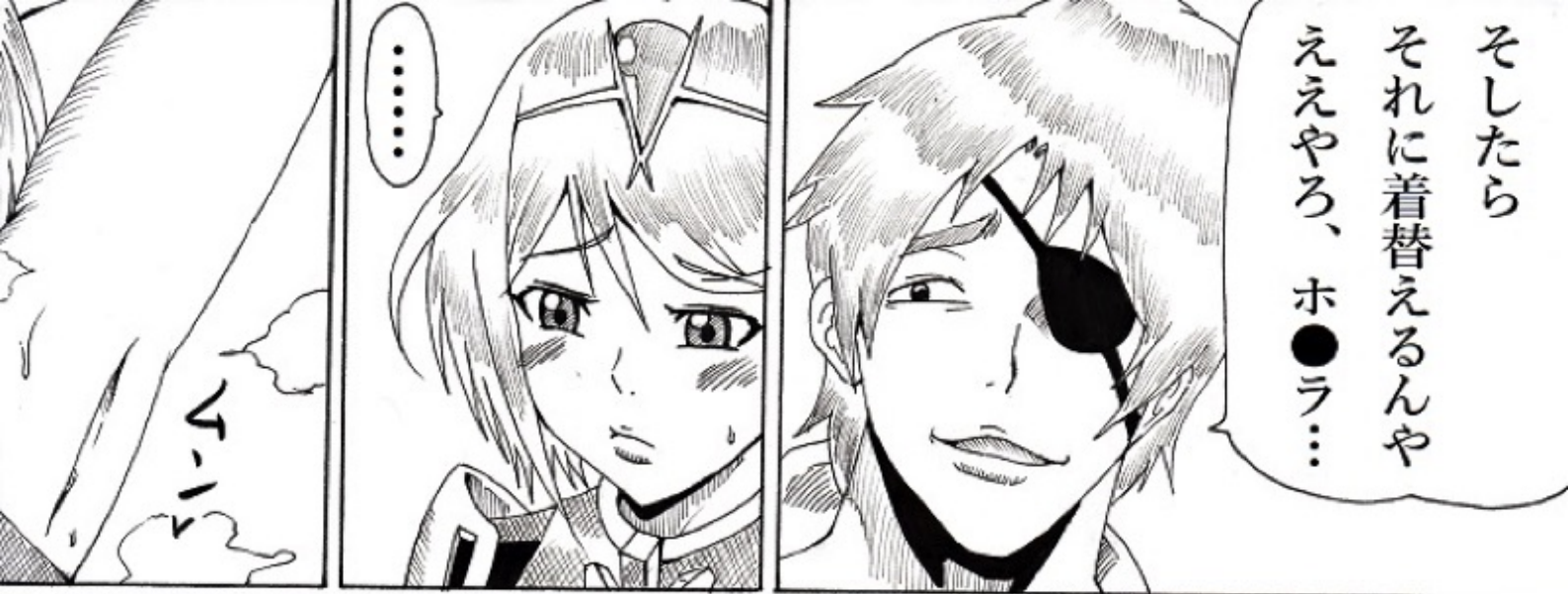
第七話 贅肉・極・性交



レ●クスを弟の様に慕い困った時には
支えてくれるジ●クさん
そんなジ●クさんに脅迫されるなんて
夢にも思いませんでした

レ●クスに秘密で色んな男性と
肉体関係にある事を知られてしまい
その口止め料としてジ●クさんとも
肉体関係を求められました

レ●クスの目を盗んで二人で
ホテルへ来ました
もう私はジ●クさんの言いなりです



そしたら
それに着替えるんや
ええやろ、ホ●ラ：

……



アルティメット
ジ●クさんの極・おち●ほで
ホ●ラのスケベおま●こ…
ぬっぷぬっぷして下さい…♥

これで
いいですか？

ああ
ええ感じや

もうジ●クさん
ったら……

恥ずかしい台詞
言わせて…
やだ…おま●こ…
濡れちゃう…♥

それにしても
随分肉ついたんと
ちやうか？

むむむむ

むむむ



あうっ
レクッ
ゴッ

これはレ●クスが
信頼度を上げる為
にお肉ばかり食べ
させるから…

ボンも横着しよるわ
お陰でワイ好みの
体型なんやけどな♪

すりすり
かん

ジ●クさん：
キス上手です♡
素敵な名を
発する口だから
でしょうか…♡
身体の相性も
バツチリです♡

ホ●ラの
極楽・聖陸は
最高やな…♪

ジ●クさんの
アルティメット
極・ち●ほも
最高です…♡

あの…キス…
してくれませんか？

ええで
なんほでも
したるわ♪



第八話 結ばれえぬ絆



今夜はレ●クスと久々のエッチです
キズナは以前より深まっている
…はずなのに、レ●クスとの
エッチは全然興奮しないんです

レ●クス以外の男を知ってしまった
からなのか…私はもうレ●クスと
では満足出来なくなっている様です
ごめんなさいレ●クス…
もう私は貴方だけの
ブレイドではいられない
かもしれません…



レ●クス
そろそろ...

ダメだよっ今日は
とことんホ●ラを
味わうって決めて
たんだから...っ!

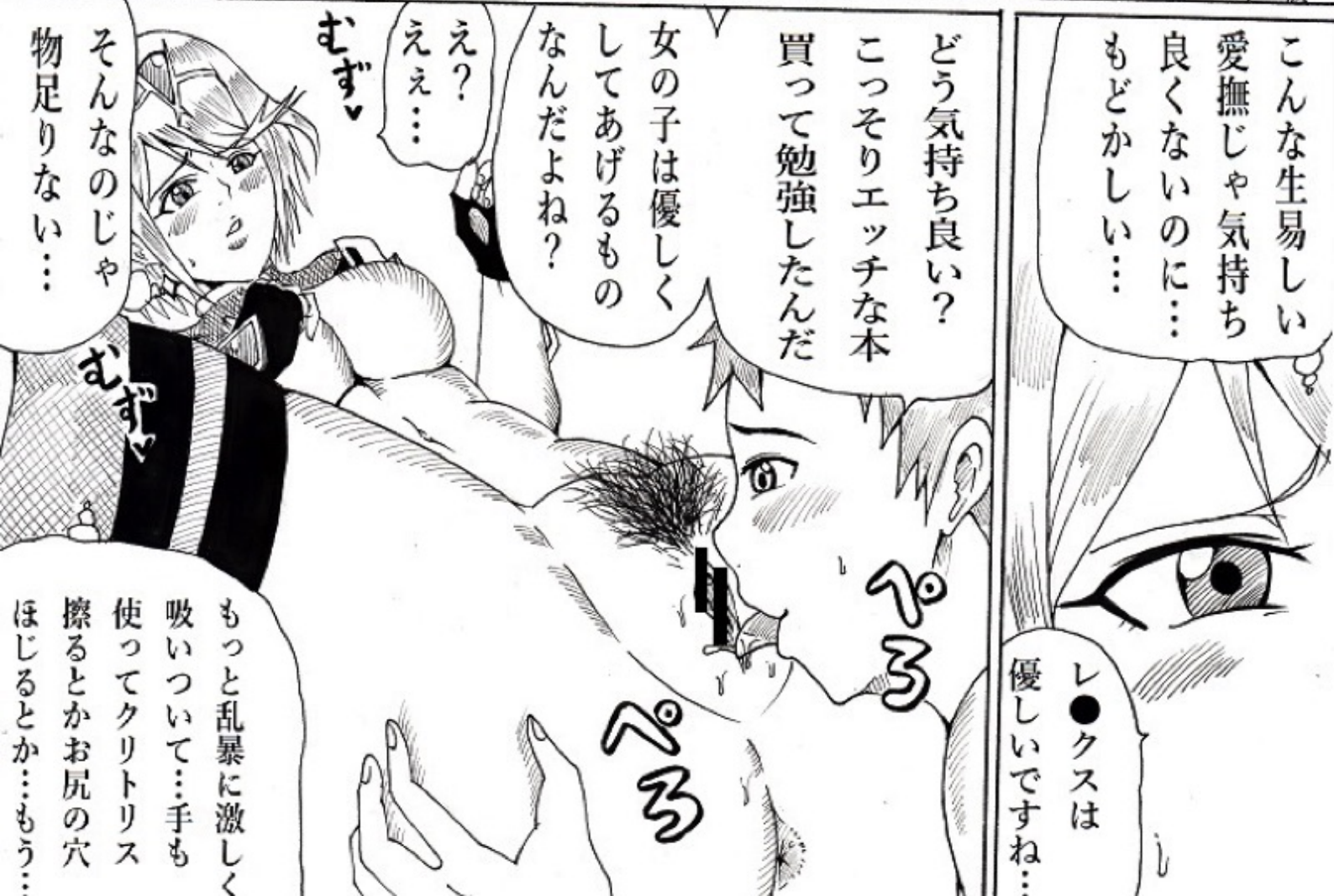
んむ〜

うんうん♡

では、せめて
乳首をかじったり
爪で引っ掻くとか
して欲しいです...
お願いできますか?



そんな...
痛いだろ?
俺、ホ●ラに
そんな事
出来ないよ



こんな生易しい
愛撫じゃ気持ち
良くないのに...
もどかしい...

どう気持ち良い?
こっそりエッチな本
買って勉強したんだ

女の子は優しく
してあげるもの
なんだよね?

え?
ええ...

むず

そんなのじゃ
物足りない...

レ●クスは
優しいですね...

もっと乱暴に激しく
吸いついて...手も
使ってクリトリス
擦るとかお尻の穴
ほじるとか...もう...

ホ●ラ
いいよっ!



ホ●ラも
いいよね!?

ワンパターンなプレイ…
それにレ●クスの
おち●ほってこんな
小さかったかしら…?



イク…
ホ●ラツ!!



私まだ
レ●クス一人で
なの…
いつちやった…

射精量も何だか
物足りないし…



でも数さえ
こなせば…

それじゃあ
寝ようか

えっ!!
終わりですか!?



今日は戦いばかりで
疲れたし…
明日も早いから…

で、でもキズナを
深めないと…!

さしち…



レ●クス…♡

何言って
るんだよ

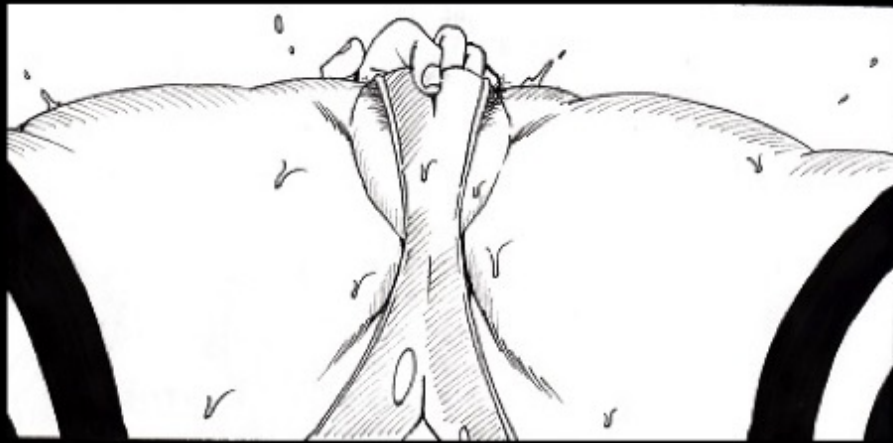
俺達のキズナは
もう最高だろ?



ええ…



第九話 裏切りの果てに



それから何度かレ●クスと
エッチをしました。が、キズナが
深まるどころか私は一向に満た
される事無く、エッチする度に
ストレスを感じていました

満たされぬ性欲から最近頻りに
自慰行為をする様になりました
しかし、自慰では限界があります
そんな時でした…
メツから連絡があったのは…

収まる事のない身体の火照りを
何とかしたい…

私は迷う事無くメツがいる
イーラへと向かいました…

それにしても
本当にここへ
来るとはね…

その変わり…
レ●クス達には…

ああ
手を出さない

それじゃあ
始めようか

そうですね

いつまでも主演
女優を待たせる
のは忍びない

ところで如何ですか？
イーラ特性の
強力パイプの味は？

ち●ぽ早く…
ち●ぽ頂戴…♡

ち●ぽ♡
ち●ぽ♡
ち●ぽ♡

かれこれ一時間か
…それにしても
なんて顔してやがる

誰でもいいからあ…♡

早く早く♡
もうおま●こ
びしょ濡れ
なのお♡

早くおま●こに
ぶっといち●ぽ
ぶち込んでえ♡



あゝ
ビクッ

ふふふ！
ふふふ！

ふふふ！
ふふふ！

ビクッ

はっ

びいん

びいん！

びいん

びいん！



何だあ？

もうすっかり

淫乱ブレイドに

なり果ててる

じゃねえか…

メ…メツ

あん？

俺のが
欲しいのか？
淫乱豚女…

ほ…

欲しいです

メツのち●ほ

ずっと

欲しかった
んです…●

あっ●ダメ…●

メツのち●ほ

想像しただけで

…あ、ああ…●

イクッッ

ぷっ！

くくっ！

くはははは!!

ビクッ

アビッ

アビッ

ビクッ

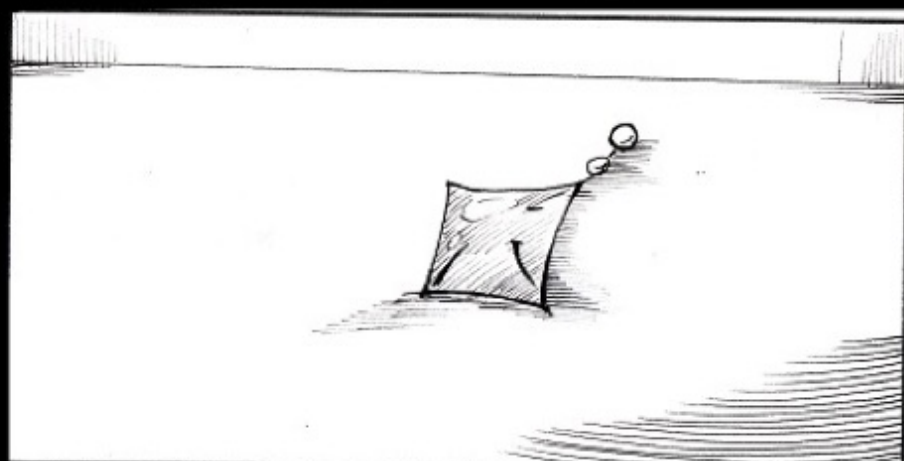
何て様だよ

ホ●ラ!!

最高の気分

だぜっ!!

第十話　そして少年は真実を知った



ホ●ラがいなくなってから
一カ月が経った

そんな時、俺の元に届いたのは
ホ●ラのイヤリングだった

これには映像を保存し

再生する機能が備わっている

これを見ればホ●ラの

居場所が分かるはずだ

嫌な予感を感じた　これを見て

しまったら…もうホ●ラは…

しかし、これを見る以外に

選択肢は無かった…

そして俺は真実を知った……

久しぶりですレ●クス

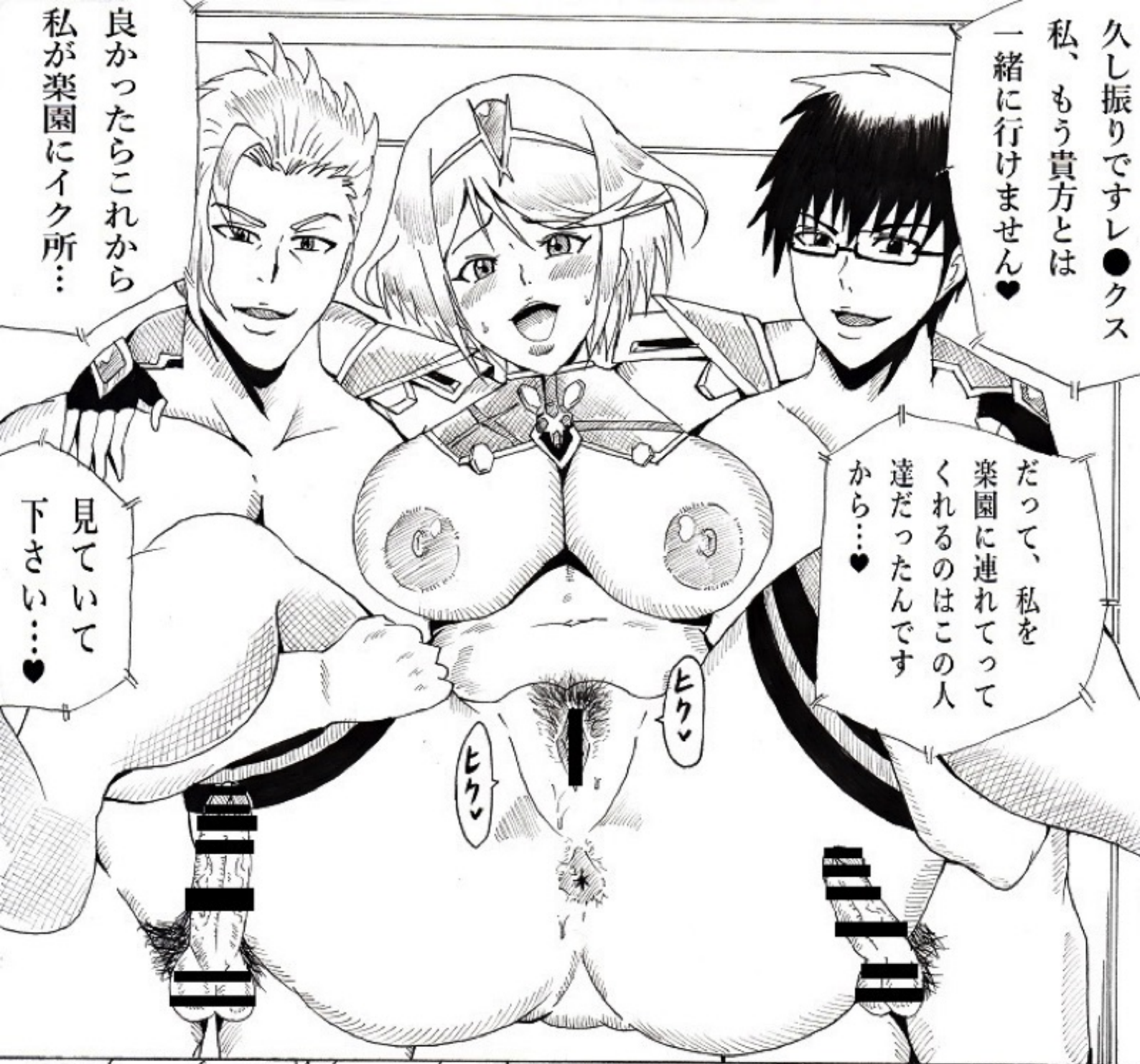
私、もう貴方とは

一緒に行けません♥

だって、私を
樂園に連れてって
くれるのはこの人
達だったんです
から…♥

良かったらこれから
私が樂園にイク所…

見ている
下さい…♥



そんな…
ホ●ラ…

ヨ●ツネ♥

ちゅっ♥

ん

むちゅっ♥

はっ

えろっ

えろっ

ふっ

えろっ

サ●ヒコ♥





イーラの不良ち●ぽ ドス黒い
最高なんですよ●
ヤリチンち●ぽ
素敵なんです●

メツのち●ぽとは
特に相性抜群で…

レ●クスなんかとじゃ
味わえない快感で
マジイキしちゃうんです●

つー訳だ

あんっ●

悪いな
小僧

こいつはもう俺達

イーラの肉便器なのさ

あっレ

あぢっ

こんな肉便器で良かったら
使わしてやるぜ…どうだ

ホ●ラ、小僧としたいか？

どうだ小僧
いいもん見れただろ？
これからも定期的に
映像を送ってやるから
楽しみにしてろよ

もつと……♡
ち●ぽお……♡
おま●こ
してえ……♡

ああ……
その前に
小僧に別れの
挨拶しとけ

レ●クス……
バイバイ……♡

